

自律神経測定センサー

疲労ストレス測定システム

ストレス社会の疲労度を科学の力で見える化

自律神経機能年齢はストレスのバロメーター

自律神経のバランスと活動量（自律神経機能年齢）をセンサーで測定し、「自律神経測定」することで、これまで客観的な評価が難しかった「疲労度」を高い精度で見える化します。

● 自律神経測定センサー（VM302）



● 測定方法（Windows PC 使用）



● 測定結果



測定後すぐに結果がプリントできます

測定器に両指をいれるだけで、脈波・心電波を同時に測定し、その結果から心拍変動を解析して疲労・ストレスの評価基準である自律神経のバランスと自律神経機能年齢を表示します。

いままでの測定器と比べて、脈拍と心拍を同時に測定することで測定精度が向上し、90秒で自律神経解析が可能となりました。

さらに、スマートフォンなどを使って簡易的に測定をおこなうパーソナルユース向けの「VM600」では、現在 Android 端末でご利用いただけます。iOS は近日中に提供予定です。（村田製作所と共同開発）